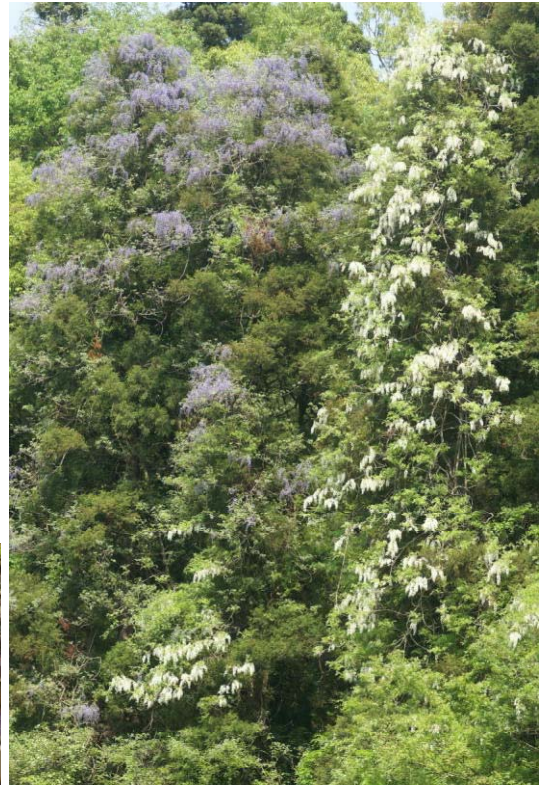


## 4 年生、春の観察(校庭)から ～植物編

4 年生による春の校庭の生き物観察(4 月 30 日)。今回は植物です。

### ①フジ *Wisteria floribunda* (マメ科)



フジの花が見事に咲いていました。甘い香りや目立つ花に誘われて、クマバチやミツバチ、ハナアブ類がたくさん来ていました。花をよく見ると、これがマメの仲間(マメ科)であることが分かります。今では果実(まめ)もだいぶ大きくなってきましたね。右の写真は牛久市正直町で撮影したのですが、紫と白のフジがスギの高木にからみついて茂っていました。それはそれは見事でしたよ。



### ②オニグルミ *Juglans mandshurica* var. *sieboldiana* (クルミ科)



クルミの花が咲いていました。左が雄花の穂、中が雌花の集まり。赤く色づいているのが雌しべの柱頭。花粉は風によって運ばれるそうです。先日、6 月 9 日には、右の写真のように果実もだいぶ大きくなっていました。秋が楽しみです。



### ③ハクウンボク *Styrax obassia* (エゴノキ科)



雑木林で見かけるエゴノキの仲間、同じく甘い香りで虫たちを呼びますが、よほど気に入ったのか、手でつついても花から離れようとしない虫も時々見かけます。葉柄のつけ根が膨らんでいて、その中に新しい冬芽が隠れています。褐色の毛に覆われた裸の冬芽は、大きい(主芽)と小さい(副芽)が並んで着いていて、主芽が小鳥に食べられたりすると、代わって副芽が伸びます。うまくできていますね。

[理科支援員 宮内]